

News! the 世界遺産

世界遺産登録に向けて初の遺跡復元 史跡永福寺跡

「武家の古都・鎌倉」の構成資産の一つ、永福寺跡の復元は中核となる三堂の基壇復元工事を終えました。構成資産では初めての試みです。1月25日に行われた住民説明会には市民310人が参加し、遺跡保存に対する関心の強さを示しました。鎌倉市教育委員会文化財課遺跡調査研究員福田誠さんに案内していただき、史跡の現状について伺いました。

史跡の一番の特色である二階堂・阿弥陀堂・薬師堂三堂の整備を進めて、基壇部分の復元がほぼ終わりました。通常、基壇は石で作られますが、永福寺では木で作られていました。全国的に一・二例しかなく珍しいことです。頼朝が作った永福寺の当初の形が大事であるとして、あえて木を使って基壇の復元をすることにしました。

建久三年(1192)の創建から約60年後の建て替えでは木ではなく石を使いましたが、頼朝が作った最初の姿ということで、木を使いました。今後のメンテナンスを考えると、どれくらいもつのかなど心配な点もあります。木材は全部ヒノキで、全国から探し求めてきたものです。

1983年の発掘調査段階で判っていたのですが、基壇部で掘立柱が発見されました。地下には800年

前の木材がそのまま残っていました。

調査で判明していた当時の地面および礎石は全部地下に埋めて保存しています。遺跡の上に土を60cm積んで新しく地面を作り、基壇を復元展示しました。当時のものを守るというのが大原則です。

全体の事業計画として2013年度から庭園の復元に取り組みます。その一環として池を整備するために西ヶ谷から流れてくる水を水源にしようと考えています。裏山のハイキングコースもリニューアルし、歴史公園としてオープンする予定です。



永福寺跡

EDITOR'S NOTE

広報部会長 内海恒雄

「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録へのイコモスの勧告は、「不記載」という厳しいものでした。このため本号の発行が遅れたことをお詫びします。

近年では世界遺産も増え、審査も厳しくなっていて、「記載」か「不記載」という形が多くなっていることは確かです。

イコモス勧告を見てみると、鎌倉の歴史的な重要性や世界に例のない武家政権による文化遺産の真実性の価値は認められましたが、権力の証拠など物的証拠の不足は、完全性に欠けると指摘されました。

貴重な鎌倉の歴史的遺産を守り、その価値を広く市民のみなならず、世界に発信してきたこの推進協議会の活動がますます重要な役割を果たす時がきたようです。

後世に誇れる歴史的遺産を生かした鎌倉のまちづくりをさらに進め、世界の人人々に鎌倉の魅力や価値をもっと認識されるよう頑張っていきたいと思えます。

編集後記

【編集委員】大竹正芳 香山 隆 菊池威雄 草場圭三 小池潮里 佐藤江里子 高木規矩郎 谷津幸利 都筑健一 能登原秀実 萩野なおみ 福澤健次 牧れい花 森まなみ 【デザイン】澤田ながえ

❀ 鎌倉世界遺産登録インフォメーション&放送スケジュール ❀

インターネット

●鎌倉世界遺産登録推進協議会HP <http://kamakura-wh.org/>

FMラジオ

●鎌倉FM(82.8MHz)…毎週金曜 19:10~19:30 「鎌倉世界遺産への道」

ケーブルテレビ

●JCN鎌倉…7Days デイリー 月曜~金曜 17:50~(当日再放送あり)

鎌倉世界遺産登録推進協議会
事務局

〒248-8686 鎌倉市御成町18-10(鎌倉市世界遺産登録推進担当)

Tel.0467-61-3849 Fax.0467-23-1085 E-mail:sekaisan@city.kamakura.kanagawa.jp